

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域とのつながりの中で唯一、子供さん達との交流が、施設の立地環境もあり実現されていない。	地域にある保育所、小学校、中学校等の子供さん達と交流を行うことで、ご利用者様は昔を懐かしみ、子供さん達には福祉の現場を知っていただく。	①地域の保育所のリサーチを行い、交流していただける所を探す。保育所交流としては自施設に定期的に訪問いただけるようお願いをしていく。 また、運動会等にご利用者様が参加出来るようにお願いしていく。 ②生徒さん達の職場体験の場としての役割を担う。	12ヶ月
2	1	接遇に関しては、現在も法人理念に基づき、ケアを実施しているが、職員の交代等もあり、不十分な感がある。	職員一人一人が「認知症ケアの専門職」としての自覚を持って、スキルアップを目指す。	①認知症に焦点を当てるのではなく、ご利用者様個々に焦点を当てることを常に意識する。生活歴の把握等、より一層ご利用者様の理解が出来るよう、職員一人一人が努力していく。 ②法人内研修会への積極的参加を促すとともに、施設内の環境整備を行う。 ③法人外、他グループホームでの運営を学び、自施設のよりよいケアに結びつける。 ④改善が必要なことに関して、職員相互で指摘し合うことにより、ご利用者様が「ほっ」と出来る環境づくりを行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。